

～特別会計補正予算～

国民健康保険特別会計（事業勘定） 359万3千円 追加

- ・国民健康保険税、国、県支出金、各種交付金、財産収入等の増減額を見込み、保険給付費、共同事業拠出金、直診勘定拠出金等の増減額を措置。

国民健康保険特別会計（直診勘定） 420万円 減額

- ・診療収入、使用料及び手数料、繰入金及び諸収入の増減額を見込む一方、総務費及び医業費の増減額を措置。

簡易水道特別会計 100万円 減額

- ・事業収入及び一般会計繰入金等の増減額を見込み、簡易水道施設修繕費等の増減額を措置。

町営バス特別会計 87万4千円 減額

- ・県補助金及び一般会計繰入金の減額を見込むとともに、運転業務委託料を減額する。

公共下水道特別会計 1037万4千円 減額

- ・一般会計繰入金及び諸収入の減額を見込み、マンホールポンプ維持管理委託料及び浄化センター施設維持管理委託料等の増減額を措置。

介護保険特別会計 329万円 追加

- ・介護保険料、一般会計繰入金等の増減額を見込む一方、介護サービス諸費、介護予防サービス等諸費等の増減額を措置。

後期高齢者医療特別会計 90万円 減額

- ・後期高齢者医療保険料及び保険基盤安定負担金の減額を見込み、後期高齢者医療広域連合納付金の減額を措置。

七ヶ宿ダム自然休養公園特別会計 60万5千円 減額

- ・公園施設使用料及び公園管理協力金等の増減額を見込むとともに、光熱水費及び業務委託料等の増減額を措置。

簡易水道事業費

問 管原研治議員

手数料が8万円ほど増額になっているが、戸数にすると何戸の増になるのか。

答 農林建設課長

13ミリの加入者数が2件と、20ミリの増口にした部分で1件で、合わせて3件の増となる。

問 管原研治議員

13ミリと20ミリは一般家庭のものか、それとも事業者のものか。

答 農林建設課長

13ミリは個人。20ミリは事業所分である。

町営バス事業費

問 梅津政志議員

町営バス運転業務委託料に不用見込みが出た要因は。

答 ふるさと振興課長

この運転業務は白石高校七ヶ宿校の生徒に係る増車分の運転経費が主で、昨年6月に追加で200万円を補正したが、卒業などで利用者が減ったため、実績に基づいて減額した。

問 村上満議員

バス会計の県補助金の算定基礎は。

答 ふるさと振興課長

町の収入、支出経費の実績に基づいて算定されている。補助率は、路線によって異なるが、収支率や比率を掛けた中で一定の基準で算定されている。

介護保険事業費

問 吉田修議員

居宅介護サービスが減額され、施設介護サービスが増額されているが、居宅介護サービスの利用者が少なくなっているのか。

答 町民税務課長

年々介護度が上がって施設入所者がふえてきており、その分デイサービスや自宅での介護が減ってきている。

問 梅津政志議員

特別徴収保険料が減り、普通徴収保険料が増えた要因は。

答 町民税務課長

特別徴収の減は対象者の死亡が要因。普通徴収の増は、新たに65歳に到達した方が特別徴収に移行するまでの猶予期間に納付書で納めていただく分が増えた。

かわまちづくり計画策定業務委託

問 管原研治議員

かわまちづくり計画策定は白石市と一緒に進めると説明を受けたが、現時点で本町の進捗状況と今後の計画は。

答 ふるさと振興課長

業務委託先の事業者が現地踏査を行い、第1回目のプランを協議している。また、一部、ダム管理所等の第1回目の調整も始まった。白石市と調整を図りつつ、国、ダム管理所、東北地方整備局等との事前の協議も図り、夏には概略を固め、秋以降には次年度の登録に間に合うようなスケジュールで協議を進めていきたい。